

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <http://www.ihara-sc.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野琢雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 岩本純彦

TEL 03-6721-6988

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,075	△9.2	893	△6.8	894	△1.2	564	24.8
24年3月期第3四半期	7,792	△0.4	958	△25.6	905	△31.4	452	△40.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 562百万円 (23.8%) 24年3月期第3四半期 453百万円 (△40.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	48.33	—
24年3月期第3四半期	38.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	13,865	8,753	63.1	749.38
24年3月期	14,096	8,395	59.6	718.73

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,753百万円 24年3月期 8,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	15.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,240	△9.8	1,100	△20.5	1,020	△24.2	630	△9.9	53.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,000,000 株	24年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,318,634 株	24年3月期	2,318,434 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	11,681,328 株	24年3月期3Q	11,681,466 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する円高が一服したものの、デフレ基調からの脱却が進まない中、欧州危機に端を発した世界経済の落ち込みは根強く、新興国経済の成長鈍化によるグローバルな経済不安もあり、国内経済の見通しは依然として不透明な状況にあります。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、素材、製品、工程設計、生産方式、販売方法をすべて変え、品質、価格ともに、どの国にも負けない競争優位の体制作りを進めております。

しかしながら、業績面では、当社グループの主な市場である工作機械、産業機械、建設機械市場におきましては、国内需要に停滞感が見られ、半導体、液晶製造装置関連市場におきましては、市況の低迷によるメーカーの設備投資抑制の傾向が強まっており、受注回復には結びついておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は70億75百万円（前年同期比9.2%減）となり、営業利益は8億93百万円（前年同期比6.8%減）、経常利益は8億94百万円（前年同期比1.2%減）、四半期純利益は5億64百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社グループは製品構成から以下4事業所を報告セグメントとしております。

(静岡事業所)

半導体及び液晶製造装置関連市場向けのクリーンなバルブ、配管ユニット等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は11億6百万円（前年同期比15.5%減）、セグメント利益は1億92百万円（同14.9%減）となりました。

(岐阜事業所)

一般産業の油空圧配管用の継手、バルブ等を生産しておりますが、重点市場である建設機械・工作機械市場向けは、やや設備投資が鈍化し、売上高は32億40百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は14億30百万円（同4.3%増）となりました。

(山形事業所)

半導体及び液晶製造装置関連、さらに分析・各種計装及び食品・パワープラント・化学市場に向けての継手、バルブ等を生産しており、半導体・液晶関連製造メーカーからの受注が減少し、売上高は18億54百万円（前年同期比23.6%減）、セグメント利益は5億8百万円（同29.6%減）となりました。

(IPEC岐阜事業所)

流体別・用途別に最適な配管システムを提供することを目標にロング継手、カセット生産、配管設計・施工を行っており、建設機械関連の受注にやや陰りがみえましたが工事の受注増等により、売上高は9億99百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は2億29百万円（同19.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円減少し、138億65百万円となりました。これは、主に現金及び預金が1億17百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が2億7百万円減少したこと、賞与引当金の計上等により繰延税金資産が89百万円増加したこと、建設仮勘定の増加等により有形固定資産が18百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億89百万円減少し、51億11百万円となりました。これは、主に買掛金が1億12百万円減少したこと、未払法人税等が1億2百万円増加したこと、賞与引当金が1億70百万円増加したこと、社債の償還により2億50百万円減少したこと、借入金の返済により4億64百万円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加し、87億53百万円となりました。これは、主に利益剰余金が3億60百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第3四半期連結累計会計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月9日に公表した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（たな卸資産の評価方法）

当社連結子会社のうち、山形イハラ株式会社における製品及び仕掛品の評価方法は、従来、売価還元法によっておりましたが、同社が当社と同一のシステムへ移行したことに伴い、当社と同一の評価方法を採用することが可能になったため、第1四半期連結会計期間から移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、前期以前の連結会計年度に係る製品及び仕掛品の取得時期の記録が一部入手不可能なため、移動平均法に基づく第1四半期連結会計期間の期首の製品及び仕掛品の帳簿価額と、前連結会計年度の期末における製品及び仕掛品の帳簿価額の差額を元に算定した累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首残高に反映しております。

これにより、従来の方と比べて、当第3四半期連結会計期間末における製品が35百万円減少し、仕掛品は12百万円減少しておりますが、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、この変更により利益剰余金の遡及適用後の期首残高は28百万円減少しております。

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,554	5,437
受取手形及び売掛金	2,264	2,056
商品及び製品	353	349
仕掛品	390	364
原材料及び貯蔵品	695	693
繰延税金資産	61	151
その他	149	105
流動資産合計	9,470	9,158
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,679	1,615
機械装置及び運搬具（純額）	522	529
土地	1,420	1,420
建設仮勘定	62	145
その他（純額）	68	60
有形固定資産合計	3,753	3,771
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	80	161
長期貸付金	5	3
生命保険積立金	67	75
繰延税金資産	534	526
その他	70	48
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	757	814
固定資産合計	4,626	4,706
資産合計	14,096	13,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	434	321
1年内償還予定の社債	400	300
短期借入金	411	389
未払金	216	167
未払法人税等	93	196
賞与引当金	—	170
役員賞与引当金	15	—
その他	43	130
流動負債合計	1,614	1,675
固定負債		
社債	350	200
長期借入金	1,793	1,328
退職給付引当金	1,534	1,502
役員退職慰労引当金	184	178
資産除去債務	53	54
その他	170	171
固定負債合計	4,086	3,435
負債合計	5,701	5,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	618
利益剰余金	7,955	8,316
自己株式	△1,742	△1,742
株主資本合計	8,395	8,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	—	△1
その他の包括利益累計額合計	0	△1
純資産合計	8,395	8,753
負債純資産合計	14,096	13,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	7,792	7,075
売上原価	5,519	4,961
売上総利益	2,272	2,113
販売費及び一般管理費	1,314	1,220
営業利益	958	893
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
為替差益	—	34
仕入割引	0	0
その他	3	5
営業外収益合計	5	42
営業外費用		
支払利息	13	17
為替差損	26	—
売上債権売却損	10	8
売上割引	0	0
持分法による投資損失	—	4
その他	7	10
営業外費用合計	58	40
経常利益	905	894
特別損失		
投資有価証券評価損	7	—
訴訟和解金	1	—
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益	894	894
法人税、住民税及び事業税	362	393
法人税等調整額	79	△63
法人税等合計	442	330
少数株主損益調整前四半期純利益	452	564
四半期純利益	452	564

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	452	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	1	△2
四半期包括利益	453	562
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453	562

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,273	2,847	2,312	838	7,271	520	7,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	395	113	54	600	3	603
計	1,309	3,243	2,426	893	7,872	524	8,396
セグメント利益	226	1,371	722	192	2,512	67	2,579

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,512
「その他」の区分の利益	67
セグメント間取引消去	△451
全社費用(注)	△1,159
棚卸資産の調整額	△10
四半期連結損益計算書の営業利益	958

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	静岡事業所	岐阜事業所	山形事業所	IPEC岐阜事業所	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,023	2,850	1,746	959	6,579	496	7,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	83	389	108	40	621	2	623
計	1,106	3,240	1,854	999	7,200	498	7,699
セグメント利益	192	1,430	508	229	2,361	117	2,479

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない販売子会社における商品売上等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,361
「その他」の区分の利益	117
セグメント間取引消去	△478
全社費用（注）	△1,105
棚卸資産の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	893

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。
該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。